

薩摩硫黄島の火山活動解説資料（平成 25 年 6 月）

福岡管区气象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方气象台

薩摩硫黄島では、3日から5日にかけて、硫黄岳でごく小規模な噴火が時々発生しました。これに伴い、4日09時50分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引き上げました。噴火の発生は平成16年（2004年）10月25日以来です。

しばらくの間、硫黄岳火口から概ね1キロメートルの範囲では、噴火に伴う大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰に注意してください。火山周辺では、火山ガスに注意してください。

○ 6月の活動概況

・噴煙など表面現象の状況（図1～4、図6-①③）

3日から5日にかけて硫黄岳でごく小規模な噴火が時々発生しました。

三島村役場硫黄島出張所によると、3日と4日に島内で降灰を確認しました。4日から5日にかけて実施した現地調査では、乳白色の噴煙を観測した他、島内で少量の降灰を観測しました。

4日に第十管区海上保安本部の協力を得て実施した上空からの観測では、雲のため火口の状況は不明でしたが、乳白色の噴煙と降灰を観測しました。

噴火の発生は平成16年（2004年）10月25日以来です。

三島村役場硫黄島出張所および鹿児島中央警察署硫黄島駐在所によると、6日以降、降灰は確認されていません。

13日に九州地方整備局が上空から撮影した映像を福岡管区气象台で分析したところ、2012年12月26日に実施した上空からの観測結果と比べ、硫黄岳東側斜面上部の噴気孔が拡大しているのを確認しました。今回の噴火では、この噴気孔から火山灰を噴出した可能性があります。

同火口では夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映¹⁾を時々観測しました。

1) 赤熱した溶岩や高温の火山ガス等が、噴煙や雲に映って明るく見える現象です。

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成25年7月分）は平成25年8月8日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、京都大学および国土地理院のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『基盤地図情報』、『数値地図10mメッシュ（火山標高）』を使用しています（承認番号：平23情使、第467号）。

・地震や微動の発生状況（図 5、図 6-②④）

火山性地震の月回数は 146 回（5 月：608 回）と、少ない状態で経過しました。

3 日から 5 日にかけて、噴火に伴う振幅のごく小さな火山性微動²⁾が時々発生しました（5 月：なし）。

・地殻変動の状況（図 7、図 8）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

- 2) 薩摩硫黄島では、火山性微動は、その最大振幅が $5.0 \mu\text{m/s}$ 以上のものを計数しています。今回発生した火山性微動は、計数基準に満たないごく小さなものですが、噴火に伴って発生していると考えられることから掲載しています（図 5）。そのため、今回の火山性微動は微動回数としては計数していません。



図 1 薩摩硫黄島 噴煙の状況（4 日、岩ノ上遠望カメラによる）

遠望カメラに火山灰が付着していることを確認しました。噴煙は天候不良のため、確認できませんでした。



図 2 薩摩硫黄島 火山灰の様子 硫黄岳から西南西に約 3 km の地点で撮影
（4 日 06 時 45 分頃、三島村役場硫黄島出張所提供）
三島村役場硫黄島出張所によると、車のフロントガラスに少量の火山灰を確認しました。



図 3 薩摩硫黄島 噴煙の状況
4 日に第十管区海上保安本部の協力を得て実施した上空からの観測では、雲のため火口の状況は不明でしたが、乳白色の噴煙（黄円内）と降灰（赤円内）を確認しました。



図 4 薩摩硫黄島 硫黄岳東斜面の噴気孔の状況
 写真①：6月13日に拡大していることを確認した硫黄岳東斜面噴気孔
 写真②：2012年12月26日に上空から撮影した硫黄岳東斜面噴気孔
 硫黄岳東斜面の噴気孔が拡大していました。

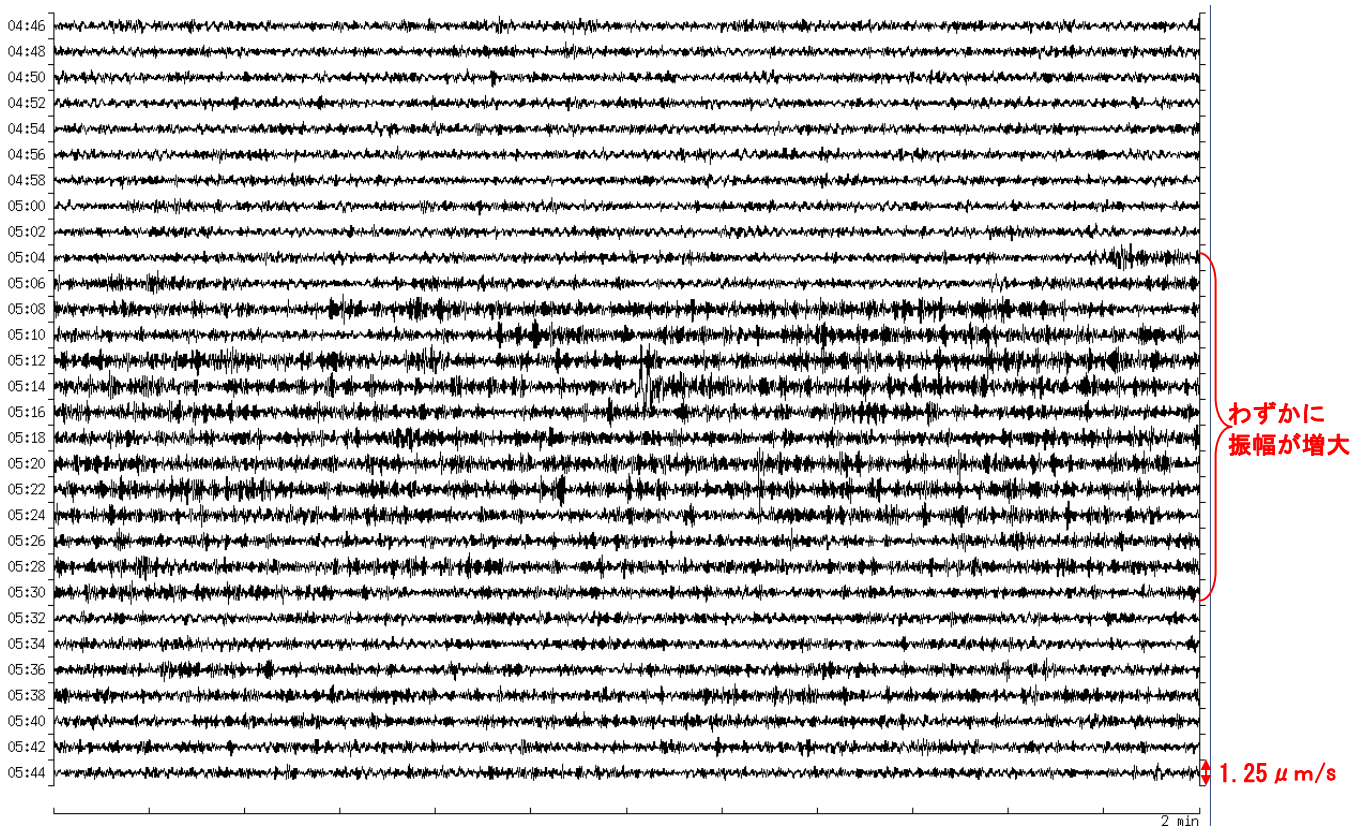


図 5 薩摩硫黄島 連続波形 展望台東観測点上下動成分（フィルタ使用）
 （6月4日04時46分～05時46分）
 4日の噴火に伴い、振幅のごく小さな火山性微動が発生しました。

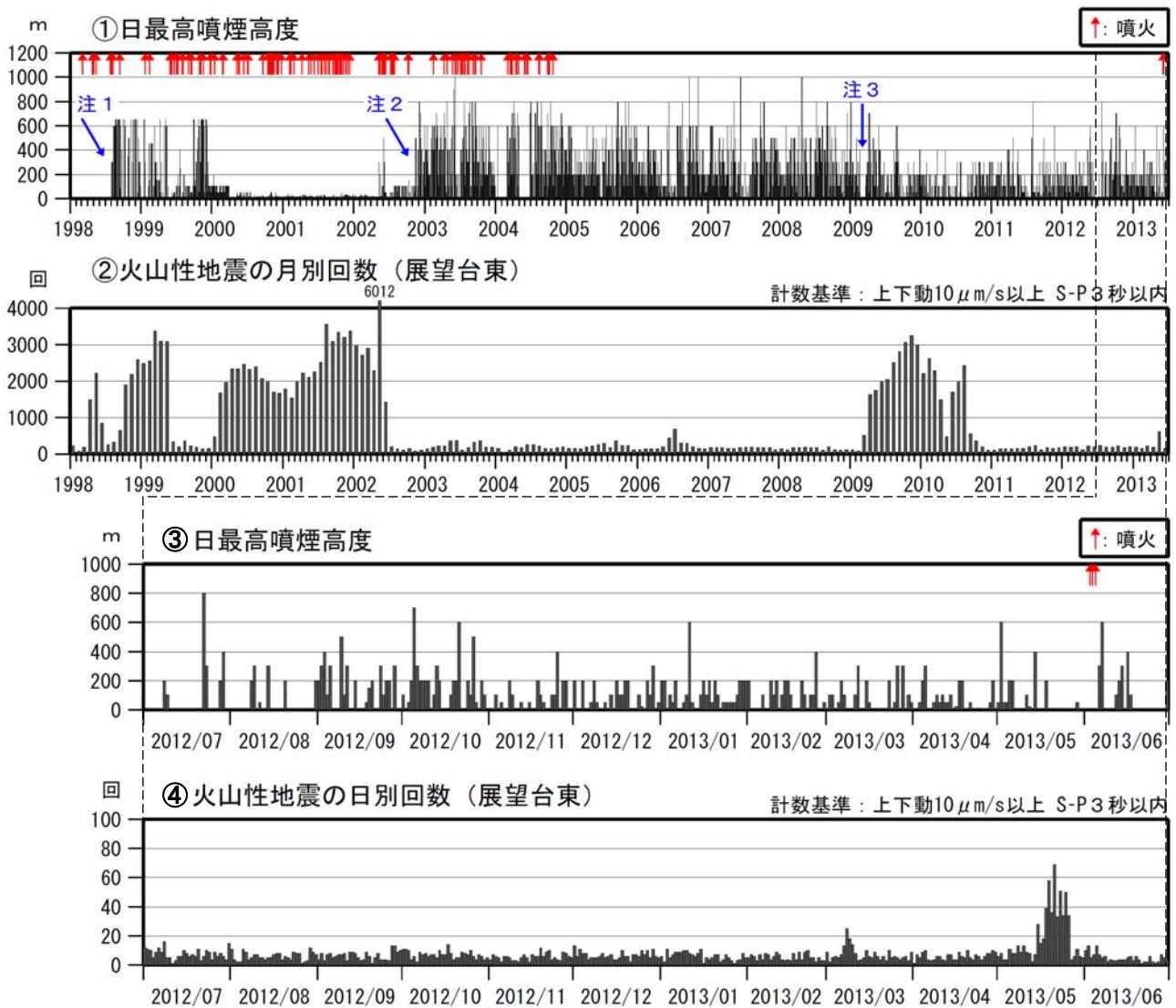


図 6 薩摩硫黄島 火山活動経過図（1998 年 1 月～2013 年 6 月）

< 6 月の状況 >

- ・火山性地震の月回数は 146 回（5 月：608 回）と少ない状態で経過しました。

注 1 1998 年 8 月 1 日：三島村役場硫黄島出張所から気象庁へ通報開始。

注 2 2002 年 11 月 16 日：気象庁が設置した監視カメラによる観測開始。

注 3 2009 年 2 月 23 日～3 月 21 日：遠望カメラ障害のため噴煙は不明。

注 4 地震計障害のため火山性地震及び火山性微動の回数が不明の期間があります。

